

市町村名	日野町
取組の名称	ふるさとキャリア教育とリンクした食育の推進 ～日野っ子のふるさと愛を育む給食～

1 地域の特色と学校の概要

本町は山々に囲まれた自然豊かな町で、四季を通じてさまざまな自然と触れ合うことができる。本校の児童生徒は、このように恵まれた環境の中で、いもほりや米作り、しいたけ植菌など、食べ物の生産に関わる貴重な体験を、地元の高校生や地域の方々から教わりながら行っている。また、本年度より小中一貫の義務教育学校となり、独自教科として新設された「はばたき科」の時間では、地域に出かけ、地域の人やもの、自然や歴史に目を向け、地域の良さに気づく取組を行っている。

2 児童の実態と取組のねらい

本校の児童生徒は、給食をよく食べ残菜率は0.5%にもならないほどである。食事の重要性やバランスよく食べることの大切さについて理解し、苦手な食べ物でも残さず食べようとしている児童生徒が多い。また、はばたき科の学習等で地域に目を向けることで、自分たちが住んでいる日野町への興味関心が徐々に高まっていると感じている。そこで、学校給食でも地元の食材を活用した学校給食をイベント的に提供することで、児童生徒が日野町の特産品やその良さについて知り、生産者への感謝の気持ちや地元への愛着を育むことができるよう取組を行った。

3 具体的な取組内容

①ふるさとの味食べよう DAY の取組

毎月19日の食育の日は、「ふるさとの味食べよう DAY」として、日野町の郷土料理や特産品を多く取り入れた献立を実施した。給食時間の献立紹介では、地元で採れた食材についてや、生産者について伝えることで、少しでも地域に目が向けられるよう工夫した。



ごはん 牛乳 日野大豆のミートローフ
のらぼう菜のおかか和え じゃぶ汁



わかめごはん 牛乳 アユの塩焼
小松菜のごまかつお和え じゃがいもの味噌汁

地元の加工所で水煮にしてもらった大豆を使ったミートローフに、旬ののらぼう菜を使ったおかか和えや、郷土料理のじゃぶ汁を合わせた。

アユ漁の様子とアユ釣りをされている方のコメントを一緒に紹介。



令和3年度から日野町の食育事業として実施

②はばたき科の学習と連携した取組

<1、2年生のいもほり体験>

1、2年生は、日野高校の生徒に教わりながら、じゃがいもやさつまいもの苗植えや収穫を行った。収穫したじゃがいもやさつまいもはポテトサラダ、じゃがいものそぼろ煮、大学芋として給食に登場した。1、2年生が収穫の喜びを味わうと共に、1、2年生の活動を全校に伝える良い機会となった。



ごはん 牛乳 ちくわの磯辺揚げ
じゃがいものそぼろ煮 キャベツの甘酢和え



うめしらすごはん 牛乳 大学芋
切干大根のナムル 餃子スープ

全校には、給食時間の放送や掲示物で取組を紹介。

<5年生「日野町の食を広めよう」>

5年生は、日野町の「食」について探究している。その中で、日野町の新たな特産品として定着しつつある青パパイヤを学校にある畑で栽培、収穫し、町内で開催されたふれあい祭りで販売した。栽培方法については、地元の生産者に教わった。収穫した青パパイヤは、給食にもサラダとして登場した。収穫後の取組として、青パパイヤを使った料理のレシピ集を作成中であり、青パパイヤの食べ方を広く町民に知らせることとしている。



【収穫の様子】



【収穫後の作業について生産者の話を聞く児童】



1個ずつの重さも計測。



ハヤシライス 牛乳 ししゃもフライ
青パパイヤのサラダ

③日野っ子おすすめ献立の実施

日野町や鳥取県でとれる食材への理解を深める取組として、児童生徒を対象に、地元食材を使用したアイデア献立を募集した。応募があった献立の中から10品を選び、1月の全国学校給食週間を中心に実際の給食献立として提供した。



ごはん 牛乳
さばのおろしあんかけ おかか和え
青パパイアの豚汁【4年生考案】



ごはん 牛乳 さつまいもとしいたけの和風コロッケ【8年生考案】
ツナサラダ 豆腐竹輪の和風シチュー【2年生考案】



ごはん 牛乳 パオズ
青パパイアチャンプルー【5年生考案】
しいたけとかぶのマーボー豆腐【9年生考案】

④生産者等との交流給食

1月の全国学校給食週間中に、4年生の児童と給食食材の生産者、地元商店の方々との交流給食を実施した。児童は、野菜作りについて質問したり、好きな給食メニューを紹介したりと楽しいひと時を過ごした。また、給食委員会を中心に作成した感謝の手紙を手渡した。生産者からは、「4年生の児童と会話をしながら楽しく食えることができた。」「子供たちが好き嫌いなく食べてくれていた。作る側も子供たちの声を聞くことができてよかった。また野菜を作って届けたい。」などの感想を聞くことができた。



【交流給食の様子】

⑤保護者試食会

コロナ禍により、3年間中止となっていた保護者対象の給食試食会を実施。今年度は1、2年生の保護者対象とした。初めに給食時間の様子を参観してもらい、その後別室にて給食を試食、試食後には、栄養教諭が学校給食の取組について講話。学校給食の取組について知っていただく良い機会となった。



【給食試食会の様子】

4 成果と課題

今年度は義務教育学校になって1年目であり、各学年がどのような活動をしているのか、給食ではどのような場面で関わることができるのか、年間指導計画の軌道修正をしながらの取組となったが、はばたき科の学習とリンクした献立の実施や、食育の日の取組により児童生徒の地場産物への理解を深めることができた。その成果として、給食週間に向けて募集した「日野っ子おすすめ学校給食献立」には、日野町の特産品を使用した献立が多く寄せられた。今年度は地場産物に関する児童生徒の意識調査ができなかったが、来年度はアンケート調査を実施し、児童生徒の変容を見取っていききたい。4年ぶりの開催となった交流給食や保護者試食会については、地域の方々に学校における食育の推進や学校給食の取組について知っていただく良い機会となった。来年度以降も継続して実施していきたい。